

車両（更新日）	配置場所	特徴・効果（購入金額は税込）
救助工作車 （令和7年3月4日）	足助消防署	・人命救助活動に必要なウインチ、クレーン、発電照明灯及び救助資機材を装備しています。 ・足助地区の地域特性から、車両周囲の照射効率向上、軽量なチルホールや登山靴、シェルウェアといった山岳救助用資器材の収納スペースの確保など、山岳救助に特化した車両としました。 ・本車両を運用する足助地区には、全国有数の観光名所である「香嵐溪」があり、車両後部のシャッターには、香嵐溪を象徴する「もみじの葉」の反射材をちりばめ、地域の魅力を最大限に発信できるように工夫を凝らした地域密着型の1台となっています。 〔購入金額〕136,400,000円
		 【「もみじの葉」の反射材】
高規格救急自動車 （高度救命処置用資機材含む） （令和7年3月8日）	松平出張所	・磁気式の防振架台を導入し、搬送途上の揺れ、車両の発進及び停止に伴う傷病者への負担を軽減します。 ・救急車で救命処置が実施できる仕様や資機材を積載しています。 〔購入金額〕27,456,000円
小型動力ポンプ付積載車 （令和7年3月18日）	稲武出張所	・ハイエースを消防用に赤く塗装した自動車です。 ・小型動力ポンプ一式やホースなどを積載しており、消火活動を行うことが可能です。 ・車両を小型化し、機動力を向上させることに重点を置き、消防ポンプ自動車から小型動力ポンプ付積載車へ仕様変更しました。 〔購入金額〕13,200,000円
資機材搬送車 （令和7年3月31日）	足助消防署	・総務省消防庁からの無償使用車両である小型救助車をはじめ、数多くの資機材を積載して出動することができます。 ・荷台をユニックキャリアとすることで、迅速かつ安全に小型救助車を積載することができ、市内災害をはじめ、緊急消防援助隊等への出動時にも活用する車両となります。 〔購入金額〕16,830,000円